

臓器周囲脂肪組織における免疫細胞の挙動の理解による器官老化メカニズムの解明と治療戦略の構築 (上田和孝/東京大学)

背景

加齢によって生じる「血管老化」メカニズムの全容は分かっていない

血管を広く見渡す解析で血管老化を知る

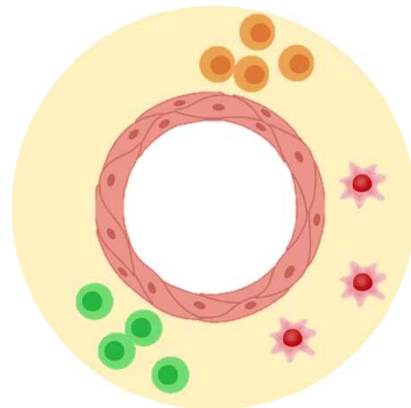
目的
方法

(狭義の)血管



平滑筋 内皮

広義の“血管”



脂肪組織 免疫細胞

〈独自の視点〉

血管を外周組織も含めた器官として捉える

〈先進の解析法〉

最新の分子発現解析法や遺伝子工学技術を駆使して多細胞種が繰り返し広げるやり取りを時間空間的に解析

〈新しい血管老化の概念〉

血管周囲組織を舞台とする細胞加齢変容が炎症慢性化と疾患を誘導するかを検証

基礎的
到達

加齢による血管レジリエンス低下を決定づける現象を見つけ出す

医療
への
展開

加齢性動脈硬化のメカニズム解明から新規動脈硬化治療薬の開発につなげる